

海岸地区まちぢから協議会 8月運営会議 議事録

1. 日 時 平成29年8月19日(土) 17:00~19:00

2. 場 所 海岸地区コミュニティセンター

3. 出席者 ※敬称略

(1) 委員 21名

渡辺 功	林 正明	米井 博之	浅場 眞一	三橋 士郎
石井 正憲(代)	瀧 且裕	真野 宗直	加嶋 武彦	小島 茂
安達 雄之輔	山田 秀砂	鈴鹿 隆司	丸山 泰	原 京子
今泉 勲	加藤 大嗣	山田 敏夫	福岡 祐子	山本 幸子
登尾 泉美				

(2) 行政 1名

茅ヶ崎市市民自治推進課：竹井副主査

4. 議事の概要及び結果

4. 1 海岸地区まちぢから協議会議題

(1) 部会報告

① 市民集会部会

真野部会長から市民集会の事前質問について、8/11までに事前質問の追加申し出はなかった旨の報告があり、下記の4点を役員会案として提示し、協議検討した。

質問1. 海岸地区における集会施設の整備について

質問2. 海岸地区でのガソリンスタンド減少について

質問3. 感震ブレーカー普及促進について

質問4. 一中通りの歩道整備について

→質問の記述表現について2~3の修正提案があり、提案に沿って修正することとした。

→提出する文案は会長一任とし、8/25 林会長と真野副会長が市民自治推進課長に提出する。

② 防災安全部会

資料をもとに、林会長から地区防災訓練案について説明があり、協議検討した。

・実行委員会(全体会議)10月1日17:00~ 海岸コミセン

→専門部会(情報収集担当、体験訓練担当、炊き出し担当など)を構成して、詳細を詰める。

・情報伝達訓練は、各自治会拠点⇔防災拠点(東海岸小学校)の交信を実施すべきではないか?

→防災安全部会にて、実施方法を検討する。

・水消火器訓練は、今年は行わない。→代わりに身の回り品を使った応急処置を学ぶ。

・炊き出し訓練(豚汁)

→レシピを各自治会に配付。各自治会(40人分)×12のほか、大鍋(約150人分)を調理。

→材料の調達は各自治会にて行い、費用をまちぢから協議会の会計に請求する。

・防災グッズの展示

→緊急持ち出し品展示(これまで中海岸自治会が担当)は行わない。

→南4丁目自治会の防災装備の展示のみを行う。

・防災訓練の分担金の支払い依頼文書を8月中に各自治会長へ送付する。

→9月21日までに東海岸会館へ分担金を持参のこと。

・訓練要綱の決定版を9月23日(土)の運営委員会で配付する。

(2) 各団体報告

① 民児協 (丸山委員)

- ・ 7月に海岸地区で孤独死が3件あった。
→海岸地区には200名程度の独居者がいる。要配慮者支援名簿には65歳未満の障害者等も含まれることから、今まで以上に対象が増えるため、皆さんの見守り協力をお願いする。

② 茅ヶ崎小学校区青少年育成推進協 (原委員)

- ・ 「オータムコンサート」を、9月9日(土)13時～茅ヶ崎小学校体育館で開催する。
出演：第一中学校吹奏楽部、第一中学校演劇部、中海岸太鼓の会、中海岸神輿保存会

③ 海岸地区社会福祉協議会 (鈴鹿委員)

- ・ 11月19日(日)に開催する「ふれあいの集い」は、これまで通り、中海岸自治会が参加する。
- ・ 茅ヶ崎南地区まちぢから協議会(和田会長、神藤中海岸自治会長)と真野副会長、鈴鹿副会長で協議し、“海岸地区社協主催、茅ヶ崎南地区まちぢから協議会後援”とすることとした。
→茅ヶ崎南地区から参加するのは中海岸自治会のみのため“中海岸自治会后援(or共催)”とする方が適切ではないか?との意見があり、鈴鹿委員が神藤中海岸自治会長と再度協議することとした。

(3) その他

① ボラセン利用物件に関して (林会長)

- ・ ボラセン利用予定の物件に再度広告看板が掲載されていた件について、7/30に林会長が市の担当課へ確認したところ、「ボランティアセンター海岸」が借りることで話は進んでいるため問題ないとの回答を得た旨の報告があった。
- ・ 防火管理者の有資格者が必要なため、防火管理者の講習会を受けるなどの手順が必要なため、正式な契約については遅れているとのこと。

4. 2 茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会に関する報告事項

- ・ 資料に基づき、真野副会長から説明あり。

以上

★次回運営委員会 9月23日(土)17:00～ 海岸地区コミュニティセンター